

投資の活性化

目下、ヘルスケア・セクターが注目を集めています。ヘルスケア・セクターは従来、(景気の変動に左右されにくい) ディフェンシブ・セクターの一つと見なされてきましたが、ヘルスケア企業や医薬品企業に成長の可能性を見出すファンドマネジャーが増えています。新薬の開発や最先端技術の導入を通じて飛躍的な進歩を遂げようとしている企業もあれば、未開拓市場への進出を通じて成長しようとしている企業もあります。

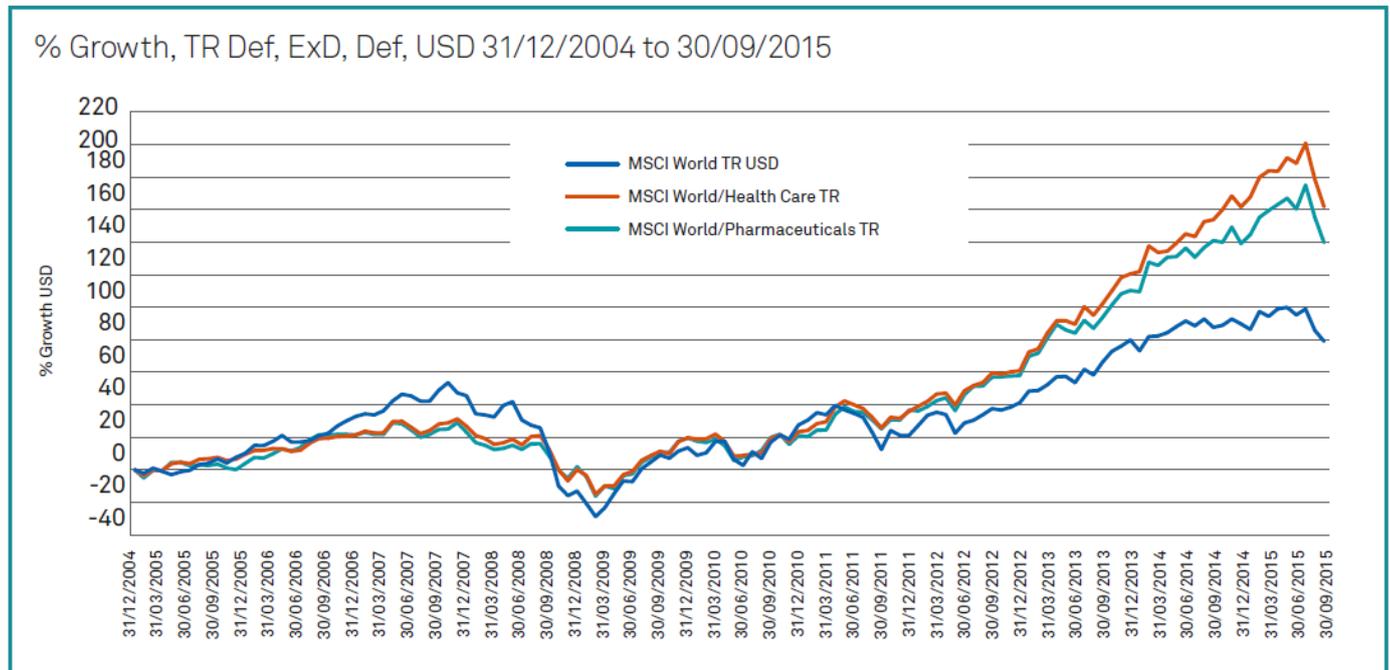
後者に属する企業群は、中間所得層が増え続ける新興国に焦点を絞って事業を展開することがしばしばです。中間所得層に特徴的なことですが、家計の平均所得の増加に伴って、従来、先進国病とされた糖尿病や肥満等の疾病に苦しむ患者数が増えることが想定されるからです。また、これまで公的な医療支出が低水準に留まっていた国々では、医療(ヘルスケア)関連支出を増やすことのできる国民が増えるはずですが。

「BNY メロン・インベストメント・マネジメント・ヘルスケア e ザイン」は、投資アドバイザーの顧客を対象とし、ヘルスケア・セクターへの投資を促す「ストーリー」を紹介することを目的としています。グローバル・ヘルスケアを形作る同セクターの趨勢や課題、技術革新に加え、日常生活への影響等を探ります。

運用実績

MSCI 世界ヘルスケア株価指数ならびに MSCI 世界医薬品株価指数の過去10年間のパフォーマンスは、MSCI 世界株価指数のパフォーマンスを大きく上回っています。

当期間の騰落率は、MSCI 世界株価指数の（約）80%に対して、MSCI 世界ヘルスケア株価指数が160%強、MSCI 世界医薬品株価指数が140%前後となっています。



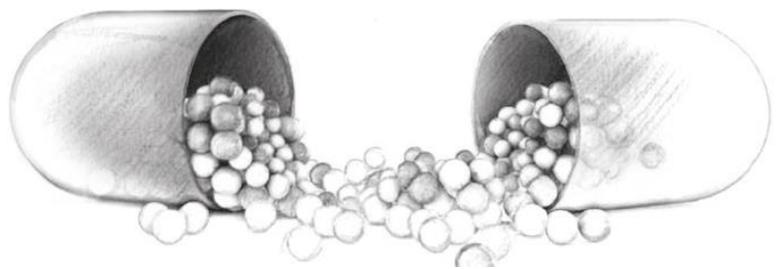
Source: Lipper, 30 September 2015

BNY メロン・グループ、スペシャリストのコメント

BNY メロン傘下のニュートン・グループでグローバル・ヘルスケア・アナリストを務めるスティーブン・ロウントリーは、「グローバル・ヘルスケア・セクターの騰落率は、2014年12月31日までの9年間のうち6年間に於いて、セクター別騰落率ランキングのトップ5に入っています」と述べています。

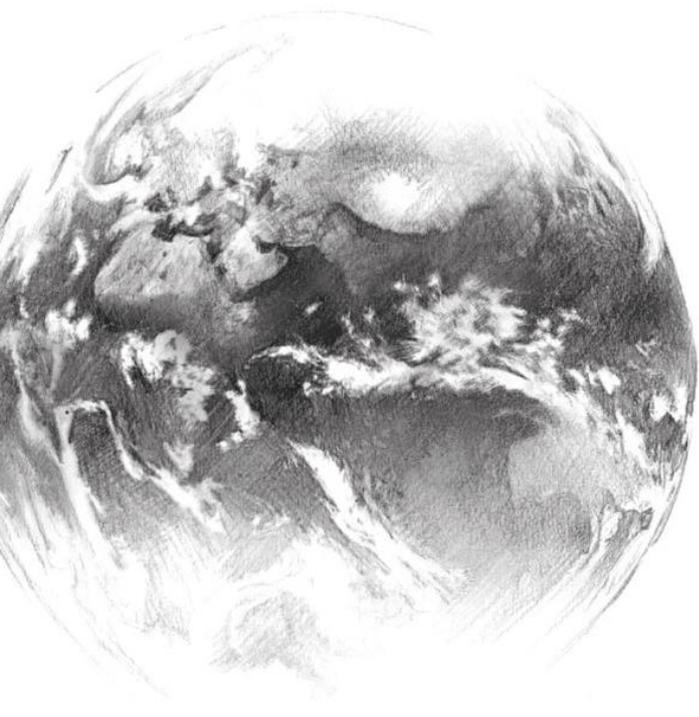
同じく BNY メロン傘下のボストン・カンパニー・アセット・マネジメントでシニア・ポートフォリオ・ストラテジストを務めるジョージ・サファイエは、「(ヘルスケア・セクターの) 技術革新と米国の「医療費負担適正化法」が、ヘルスケア・セクターのけん引役となっています。バリュエーションには一部割高感も見られますが、企業のパイプライン（新薬候補）が充実していれば、今後の利益成長がバリュエーションを正当化すると考えます。」と述べています。

ニュートン・グループの新興国・アジア株式チームを率いるロブ・マーシャル・リーは、当該地域においてもヘルスケア・セクターへの投資を考慮する価値があると述べています。「大半の新興国市場では、医療関連支出の伸びの基準が、極めて低水準にあります。一部の国では中間所得層の拡大に伴って、医療費を支払える国民の数の増加が予想されます。また、新興国の公的医療費は先進国との比較では極めて低水準に留まっていますから、可処分所得を手にする状況が実現すれば、医療関連支出を捻出することが国民の優先課題になると考えます。」



ヘルスケア・セクター分析

- MSCI 世界株価指数の構成銘柄のうち、120 銘柄強が「ヘルスケア」企業に分類（2015 年 9 月 30 日現在）されており、ヘルスケア・セクターは、英国ならびに欧州（大陸）株式市場の双方で主要セクターとなっています。このことには、世界でも大手の医薬品企業の幾つかが、英国ならびに欧州に拠点を置いていることが少なからず影響しています。英国の多国籍企業であるアストラゼネカならびにグラクソ・スミスクライン、スイスの医薬品大手、ノバルティスならびにロシュ、フランスのサノフィ、ドイツのバイエル等の企業です。いずれも、フォーブスが発表した「2015 年世界の有力企業 TOP20」に入っています。
- 英国の株価指数である FTSE 全株価指数のセクター別騰落率ランキングでは、僅か 12 銘柄で構成される医薬品セクターが 3 位となっています。同様に米国の S&P500 種株価指数では、11 銘柄で構成される医薬品セクターが 1 位、9 銘柄で構成されるバイオ医薬品セクターが 5 位となっています。ヘルスケア・セクターが医薬品セクターやバイオ医薬品セクターよりも大きいのは、ヘルスケアのサプライチェーンには、医療機器、ヘルスケア・プロバイダー、流通業者、病院、化学等の企業も含まれるからです。



ファンドのヘルスケア銘柄組入れ

業界最大手の最も有名な企業が消費者に認知されていないかもしれませんが、それら企業の製品の多くは知られることになるでしょう。同様に、当該企業の株式の組入は、BNY メロン・ファンドにとって、重要な役割を果たしています。

- BNY メロン・ファンドの多くは、ヘルスケア・セクターをオーバーウエイトとしています。2015 年 9 月 30 日現在、ニュートン・グループが運用するグローバル・エマージング・マーケット戦略では、ヘルスケア・セクターの組入が 10.81%と MSCI 新興国株価指数の 2.89%を大きく上回っています。同様に、BNY メロン・ロングターム・グローバル株式戦略では、ヘルスケア・セクターの組入が、（セクター別組入れランキング 3 位の）16.04%であるのに対し、MSCI 世界株価指数では 13.33%です。ニュートン・グループのニュートン・グローバル・インカム戦略についても 15.32%と FTSE 世界株価指数の 11.77%を上回ります。2015 年 9 月 30 日現在、グローバル・インカム・ファンドの上位 15 銘柄のうち 4 銘柄がヘルスケア関連銘柄です。
- ニュートン・グループのリアル・リターン戦略では、医薬品セクターならびにバイオ医薬品セクターの組入が 8%弱に留まりますが、医療機器等、両セクター以外のヘルスケア関連銘柄が組入れられています。
- 2015 年 9 月 30 日現在、ボストン・カンパニー・アセット・マネジメントの米国オポチュニスティック戦略のヘルスケア・セクターの組入は 15.57%と S&P500 種株価指数の 15.38%を僅かに上回ります。一方、ユーロランド・スモールキャップ戦略のヘルスケア・セクターの組入は 10.2%、S&P ユーロ圏スモールキャップのヘルスケア・セクターの組入は 4.8%です。
- ヘルスケア・セクターの成長性を認識しているのは、BNY メロン・ファンドだけではありません。実際に、多数のファンドがヘルスケア・セクターを一定以上、組入れています。当セクターの組入比率は、IA UK 全銘柄セクターでは平均 8.07%、IA UK エクイティ・インカム・セクターでは平均 8.68%、また、IA グローバル・エクイティ・セクターでは、平均 12.29%となっています。

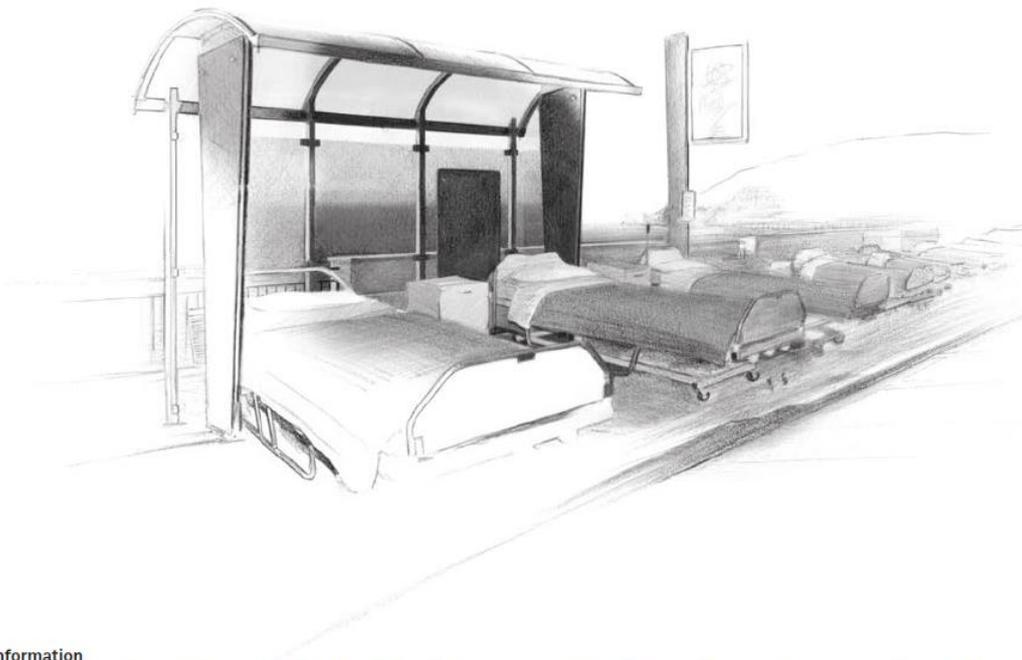
まとめ

「BNY メロン・インベストメント・マネジメント・ヘルスケア e ザイン」は、投資アドバイザーと顧客との関係構築の一助となるよう設計されています。投資の裏にある実際の「ストーリー」を紹介し、顧客との会話のきっかけを提供することで、なぜ、ヘルスケア・セクターに投資すべきかを顧客に説明する際に役立つはずです。

BNY メロン・インベストメント・マネジメントの IM EMEA インターメディアリー・セールス部門を率いるヒラリー・ロベスは、次のように述べています。「資産運用は不透明で分かりにくいと感じている多くの顧客に、ポートフォリオへの関心を持ってもらうまでには、坂を上るような苦しさを感じることもしばしばです。とはいえ、デジタル時代が到来したことで、投資に関連があり人目を引くコンテンツを、理解しやすく、操作しやすいフォーマットで、多くの顧客に示すことが容易となっています。ヘルスケア e ザインは、顧客の方々が（投資への）「旅」を滞りなく続けられるよう、また、日常生活と投資ポートフォリオの接点となり、投資を活性化することの一助となるよう設計されています。」

顧客との会話のきっかけとなる文例

- ・ヘルスケア・セクターで、今、最も注目されるストーリーは何でしょうか？
- ・あなたの過去 10 年間の投資成果に、ヘルスケア銘柄がどのくらい貢献したと思いますか？
- ・あなたのポートフォリオは、ヘルスケア銘柄をどのくらい組入れていると思いますか？
- ・英国の株式ファンドのヘルスケア・セクターへの投資比率は、平均するとどのくらいだと思いますか？



Important information

Past performance is not a guide to future performance. The value of investments and the income from them is not guaranteed and can fall as well as rise due to stock market and currency movements. When investments are sold, investors may get back less than they originally invested.

This is a financial promotion for Professional Clients. In Switzerland, this is for Qualified Investors only. This is not investment advice

Any views and opinions are those of the investment manager unless otherwise noted. This material may not be used for the purpose of an offer or solicitation in any jurisdiction or in any circumstances in which such offer or solicitation is unlawful or not authorised. This material should not be published or distributed without authorisation from BNY Mellon Investment Management EMEA Limited. Portfolio holdings are subject to change, for information only and are not investment recommendations. BNY Mellon is the corporate brand of The Bank of New York Mellon Corporation and may also be used as a generic term to reference the corporation as a whole or its various subsidiaries. Issued in the UK and Europe (excluding Switzerland) by BNY Mellon Investment Management EMEA Limited, BNY Mellon Centre, 160 Queen Victoria Street, London EC4V 4LA. Registered in England No. 1118580. Authorised and regulated by the Financial Conduct Authority. Issued in Switzerland by BNY Mellon Investments Switzerland GmbH, Talacker 29, CH-8001 Zürich, Switzerland. Authorised and regulated by the FINMA. Issued as at 26/11/2015. CP16520 - 26-02-2016 (3M). T3350 11/15

本情報提供資料は、BNY メロン・グループ（BNY メロンを最終親会社とするグループの総称です）の資産運用会社が提供する情報について、BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が審査の上、掲載したものです。当資料は情報の提供を目的としたもので、勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、作成時点での見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社
BNY Mellon Asset Management Japan Limited

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 406 号
〔加入協会〕 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会